



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報 THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立 1964年3月2日 ■例会日 毎・金曜日 12時30分 ■例会場 オークラ千葉ホテル
■会長 酒井 秀大 ■幹事 山本 康永 ■会報委員長 岡田 敦志
■事務局 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2024-25年度

第2865回

2024年9月6日(金) 点鐘12時30分 (晴れ)

- ◆国歌斉唱 『君が代』
- ◆ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- ★本日のゲストスピーカー
NPO 法人バランス21 理事長 斎藤 幸一様
- ★浦安ロータリークラブ 伊藤 優花様
- ★国際ロータリー第2790地区第4グループ
ガバナー補佐 船木 幹夫様
ガバナー補佐幹事 鈴木 芳明様
- ★ロータリー米山奨学生 イトウエン ビアさん

◆会長報告 酒井 秀大会長

【理事・委員長会議報告】

1. クラブ資運営金会計報告・・・承認
2. ニコニコボックス会計報告・・・承認
3. 8/31 稲刈り事業会計報告・・・承認
4. 10/18 第3・第4グループ合同ラーニングセミナー
開催の件・・・10/18(金)休会を10/25(金)に変更。
点鐘13:30 会場:三井ガーデンホテル千葉
5. 第20回国際里山の集いについて
(スケジュール・予算について)
6. 12/6高雄博愛扶輪社創立記念式典について
クラブとしては参加しない。(4月に訪問する予定。)

◆ご挨拶

【国際ロータリー第2790地区
第4グループ
ガバナー補佐 船木 幹夫様】
大動脈解離で倒れてしまいましたが、手術をしないで奇跡的に



退院することができました。これからも頑張ってガバナー補佐の仕事をしてしたいと思います。

◆バナー交換

浦安バイロータリークラブ・伊藤優花様とバナーの交換を行いました。



◆委員会報告

社会奉仕委員会(佐藤達志委員長)

- ・8/31 稲刈り作業の様子が千葉TVで放映されました。
- ・10/6 国際里山の集いが開催されます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

地区RLI実行委員会 (三神秀樹委員)

- ・9月14日にRLIパートI があります。ご参加を宜しくお願いいたします。

◆幹事報告 山本康 永幹事

- ・千葉港ロータリークラブ創立40周年開催のご案内
日時 2024年11月23日(土) 18時点鐘
会場 京成ホテルミラマーレ
登録料 15,000円
ご出席いただける方は、お申し出ください。

- ・9月20日(金)の例会は、ガバナー公式訪問です。
- ・9月27日(金)は、定款により休会です。

◆会員誕生日祝い・結婚記念日祝い

《誕生日お祝い》

藤波勇一会員・鈴木美津江会員・末吉弥和会員
酒井秀大会員・植松高志会員

《結婚記念日お祝い》

岩原秀一会員・福井彰浩会員・斎藤昌雄会員

◆出席報告 (会員数 58名)

出席者数	欠席者数	ビジター	8/16 修正出席率
39名	19名	5名	休会のため次回

●酒井 秀大会長、山本 康永幹事

本日は、ゲストスピーカー斎藤様、浦安ベイロータリークラブより伊藤様、船木ガバナー補佐、鈴木ガバナー補佐幹事と大勢のお客様にお越しいただいております。船木ガバナー補佐のお元気な姿を見て大変嬉しく思います。

台風10号は大きな爪痕を残していきましたが、年間平均、約25回発生するといわれる台風は9月が最も多く、海面温度27℃以上で発生すると言われています。温暖化が進み、台風はまさに人間が作り出しているような気がします。皆様、安全にお過ごしください。そして、残暑バテにはくれぐれもご注意ください。

●今井 太志会員

皆様、いつも有難うございます。先週は仕事の行事でアラブ首長国連邦のドバイに渡航しており、例会を欠席させていただきました。私が紹介者である栗原会員の卓話を拝聴できず申し訳ございませんでした。

●前島 孝夫会員

昨日は、母・前島まさいの通夜・告別式に生花をいただき、有難うございました。親族で安らかに見送ることができました。

●吉田裕成会員・植松省自会員・斎藤昌雄会員

酒井会長、山本幹事はじめ、稲刈り事業に参加された会員の皆さん、そして、稲刈りまでずっと管理をされた伊藤さん、本当にご苦労様でした。千葉TVを見ました。参加した子供たちには、基調で楽しい体験になったことと思います。最後の集合写真で佐藤社会奉仕委員長のポーズが決まっていましたね！！

●常世田 正弘会員

昨日、市原ロータリークラブにメーキャップに行ってきました。ゴルフで地区のゴルフや他クラブとのコンペで知っている顔が何人もおられて孤立することはありませんでした。皆さんも是非他クラブとの交流のためにも同好会や地区大会などを通して親睦を深めてください。

演 題⇒ 自然共生サイト
「堂谷津の里」

卓話者⇒NPO法人バランス21
理事長 斎藤 幸一様



○国連の生物多様性条約 締約国会議

(カナダ、COP15、2022年)

生物多様性の損失を止め、人と自然との結びつきを取り戻す、生物多様性の回復に向けた**新たな国際目標「30by30」**が採択されました。

・30by30：2030年までに陸と海の30%以上を保全

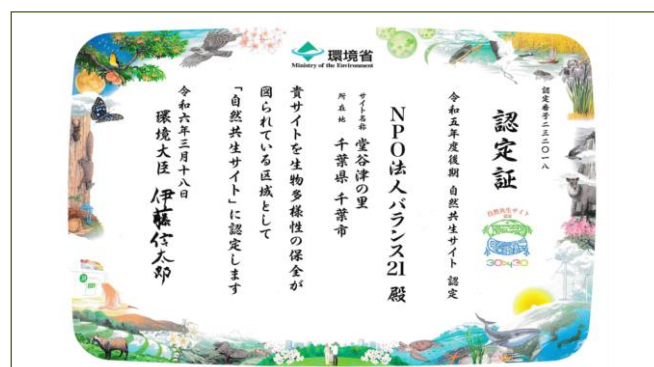
・国立公園等の保護地域の拡張

・OECM：保護地域以外で生物多様性保全に資する区域（企業有林や里地里山）を**自然共生サイト**として認定

・最近では身近でも大きな気象災害が頻発しています。

・人類の開発行為の負の側面が私たちの生活や生存を脅かし始めています。

・この危機的な状況に対処するため、いま、全世界で、生物多様性の損失を止め、人と自然の結びつきを取り戻す活動が始まっています。



・私たちは、昨年の9月、12年をかけて再生した「堂谷津の里」の自然共生サイトとしての認定を申請しました。

・審査の結果、「堂谷津の里」は、今年3月に自然共生サイトに認定され、8月末にはOECMとして国際登録されました。

本日のニコニコボックス	12,000 円	累計	159, 335 円
-------------	----------	----	------------

認定審査委員の評価（抜粋）

・人の手による活動なしには維持され得ない谷津田の自然環境を、活発な利活用を伴って継続的に維持する試みには高い価値があり、大都市に隣接した位置関係を考えても、その活動の意義は明らかである。

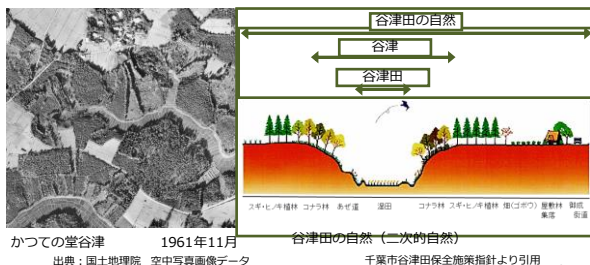
・全体として、素晴らしい二次的自然環境を維持されており、高く評価できる。在来種を中心とした多様な動植物が生息生育している。管理やモニタリングの計画、方法も適切である。

ここに認定審査委員の方々の評価を抜粋して示しました。



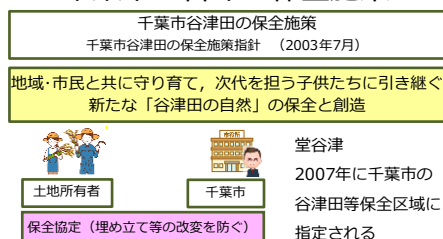
・今からご紹介するように、「堂谷津の里」には人と自然の共生を体験できる環境が整っています。
・今日の紹介を参考にして、10月に「堂谷津の里」を訪れその自然に触れて頂けると、幸いです。

62年前の堂谷津 生きものの豊かな二次的自然



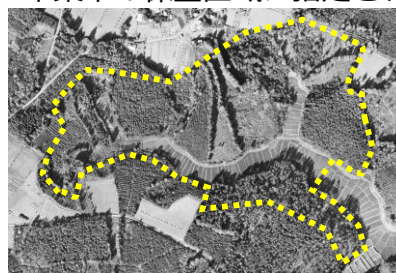
・これは、今から62年前の堂谷津です。
・時期は11月。稲刈り跡の谷津田です。

千葉市の谷津田保全施策



・その後、稲作の機械化などにもとない、市内の谷津田の多くが失われることになりました。
・幸なことに、堂谷津は千葉市の谷津田保全施策のもとで、2007年に保全区域に指定され、土地所有者の皆さんと市役所が結ぶ保全協定により、埋め立てなどの改変を免れました。

千葉市の保全区域に指定された堂谷津



破線：
保全協定締結対象区域
※保全協定未締結地を含む
2024年3月末時点

写真は1961年11月の堂谷津
出典：国土地理院 空中写真画像データ

破線の範囲が堂谷津の保全対象区域です。

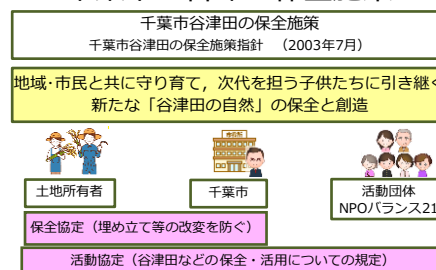
2011年の堂谷津



2011年10月撮影

これは、2011年10月の保全区域の様子です。
掲示板から奥が保全区域になります。
人の手が加わらなくなった谷津田にはヨシやガマが蔓延り、林は鬱蒼としています。

千葉市の谷津田保全施策



これは、2011年10月の保全区域の様子です。
掲示板から奥が保全区域になります。
人の手が加わらなくなった谷津田にはヨシやガマが蔓延り、林は鬱蒼としています。

活動の経過～二次的自然の回復と活用

二次的自然を回復する

米づくり（2012年～）→ビオトープ整備（2014年～）→斜面林保全（2015年～）
動植物の保護・保全（2013年～）
谷津田の洪水緩和－地下水の有効利用（2019年～）

回復した二次的自然を活用する

市民向けのイベントの企画・運営（2014年～）
学生向けの現地研修会などの開催に協力（2022年～）

私たちの目標は、二次的自然の回復とその活用です。
まず、堂谷津の湿地環境を回復するために米づくりに着手し、次いでビオトープの整備、さらに斜面林の保全

二次的自然を回復する

米づくり（2012年～）→ビオトープ整備（2014年～）→斜面林保全（2015年～）

米づくりは、湧水利用の無農薬・冬期湛水不耕起栽培です。



田の草刈り 2012年1月 ビオトープの整備 2014年12月 斜面林の探索 2014年12月

私たち活動を写真で紹介します。

米づくりは湧水利用の無農薬・冬期湛水不耕起栽培です。

二次的自然を回復する

動植物の保護・保全（2013年～）



アカガエル調査 2018年3月 野草園の整備 2021年6月

確認した動植物

植物（イネ科など未調査）：462種
 チョウ：57種 トンボ：22種
 両生類：5種 爬虫類：8種
 哺乳類：10種 鳥類：43種
 ※希少種を含む
 2023年3月現在

つぎは、動植物の保護と保全です。

左は、冬期湛水田のニホンアカガエルの卵塊です。
 アカガエルの生息数の回復を実感しました。

五感が目覚める
 体験と学びの場

堂谷津の里



2023年3月

注）保金指定地域を一部含む

これが、堂谷津の里の絵地図です。

自然共生サイトの堂谷津の里には、絵地図のさらに東にある林などが加わります。

田んぼや林で遊ぶ子供たち



わき水をたどる

この写真は田んぼや林で遊ぶ子どもたちの様子です。

ここを訪れた市民から、
 「ほんとうに自然がいっぱいでおどろきました」

二次的自然を回復する



谷津田の湧水緩和－地下水の有効利用（2019年～）



夏の湧水 2017年7月 土水路の造成 2019年11月 堰の新設 2019年11月

- ・私たちはこれまで二度の湧水を経験しました、
- ・現在は、緑色の区域の地層を地下水の水がめとして利用し、湧水を緩和しています。

堂谷津の里～生まれかわった堂谷津



冬期湛水田 2021年2月 明るくなった林 2018年3月 早春の野草園 2020年4月

堂谷津の里の維持・運営：年間のべ800名（NPO会員）

堂谷津の里を訪れた市民：年間のべ500名

※2023年度実績

私たちは生まれかわった堂谷津に

堂谷津の里という愛称を付けました。

左から冬の田んぼ、明るくなった斜面林、春の野草園です。

谷津田の生物多様性と無農薬の米づくり



これは、私たちの無農薬の米づくりです。

谷津田の生物多様性と無農薬の米づくり

私たちは深刻な病虫害被害を受けることなく、10年以上、
 無農薬で米づくりを続けてきました。

無農薬で米づくりを続けてこられた理由を

千葉県立中央博物館の林紀男先生にお聞きしました。

・最後に、県立中央博物館の林紀男先生にあてた私たちの質問と先生の回答をご紹介します。

谷津田の生物多様性と無農薬の米づくり

ご照会の「堂谷津で病害虫の発生が軽微」なのは、生きものが豊かなことがその背景にあります。

谷津田の生物多様性と無農薬の米づくり。

これは過去の化学物質に過度に依存した農法では成し得なかったことです。

その反省に立って、「総合的病害虫・雑草管理（IPM：Integrated Pest Management）」が推奨されてきました。

しかし、堂谷津では、さらに高度な「総合的生物多様性管理（IBM：Integrated Biodiversity Management）」を実践し成立させているのです。素晴らしいことです。

21

- ・これが、林先生から頂いた回答です。
- ・総合的生物多様性管理を実践して成立させている、とはどういうことでしょうか。



私たちは田や林の無農薬の管理、動植物の保護を10年あまり続けてきましたが、それは谷津田の生物多様性を回復する活動であったと、あらためて感じています。

ご清聴ありがとうございました。

<NPO法人バランス21 理事長 斎藤 幸一様
より、資料のご提供をいただきました。>